

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	68		事務事業名 (中事業名)	リサイクルプラザ運営事業 ()					
予算科目	04	02	06	大事業	04	中事業	00	担当課名	環境業務課
総合計画施策コード	552			事務開始年度	平成12年度		備考		
根拠法令等	廃棄物処理施設整備緊急措置法						作成月	令和3年9月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	ごみの減量化及び資源の有効利用並びに再利用の促進を図るため。
事業の対象 (誰(何)のために)	ごみを排出する市民、資源の有効利用について活動する団体等
事業の概要 (具体的に何を)	クリーンセンターに搬入されたごみの中から取り出した再生可能な物(家具、自転車、小物など)を修理し、展示期間を経て、入札により販売する。また、リサイクル作品講習会やリサイクル作品の募集・展示などを行い、ごみの減量啓発活動を図る。

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	6,945,040円	6,574,859円	8,113,000円	
事業にかかる人工	0.05人	0.05人	0.05人	
事業にかかる人件費②	359,378円	363,323円	364,139円	
総事業費③(①+②)	7,304,418円	6,938,182円	8,477,139円	
総事業費の内訳③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	3,776,558円	4,061,962円	5,477,139円
	その他 売上金	3,527,860円	2,876,220円	3,000,000円
R2 総事業費③の対前年度差額	-366,236円	R2 総事業費③の対前年度比率	-5.01%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	会計年度任用職員(4人)	来場者受付・入開札事務(人件費)	3,780,234円	
	家具等再生業務委託料	家具等の修理、清掃(人件費)	1,639,322円	
	自転車再生業務委託料	7400円/台×99台(整備・登録・保険代)	732,600円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけ成果(成果指標)を得るために、どれだけ活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	来場者数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	14,000	人	12,000	人	12,000	人
	実績値	11,596	人	7,421	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	展示販売点数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	1,700	点	1,500	点	1,500	点
	実績値④	1,561	点	1,330	点	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		4,679円		5,217円		*****	

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	家具自転車等再生業務
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	未定
事業の終了時期が未定の場合の理由	ごみの減量化及び資源の有効利用並びに再利用の促進を図ることは継続する必要がある、その機会となるリサイクルプラザ運営事業は長期的に展開することが重要であるため。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)		○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	△
	国・県・市・民間との役割は適切か		○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか		◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか		○		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか		○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか		○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	○
評価の総合的なコメント	コロナの影響で展示販売点数が減少し単位コストは上がってしまったが、リサイクル品の販売と入札、リサイクル作品講習会は適正に行われている。					
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める				
	(理由)	リサイクルプラザは、ごみの減量化、資源の有効利用及び再利用の促進を図ることを目的としているため、続けていく必要がある。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	リサイクルプラザの運営を民間委託に変更しても、経費を節減できるとは考えにくい。事業拡大については、経費、入札の日程、スペースなどの問題があり難しい。					
事業全体の課題	リサイクルプラザでのリサイクル品の販売やリサイクル作品講習会については来場者と入札者及び講習会参加者も多く、市民に定着していると思われるが、ごみ減量化についての意識向上や分別ルールの周知徹底などを、今以上に市民に浸透させて行くことが課題である。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	近隣自治体も、同様の事業を行っている。
---------------	---------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	リサイクルプラザの公告ポスターを公共施設だけでなく、より多くの市民に周知してもらうため、民間の店舗などにも掲示してみてもどうか(リサイクルプラザ職員R2.4)
-----------------	---

●改善案【ACTION】

今後の改善策	来場者、リサイクル作品講習会参加者にアンケートを実施し、意見を反映することにより、今以上に市民のニーズに応えるようにする。また、親子で参加できるリサイクル体験会などのイベントを開催し、ごみ減量化についての啓発活動を図る。
--------	--